

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月25日

上場会社名 株式会社アクセル
 コード番号 6730 URL <http://www.axell.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(氏名) 佐々木 譲
 (氏名) 千代 進弘

TEL 03-5298-1670

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,307	—	1,424	—	1,432	—	878	—
20年3月期第1四半期	2,706	46.4	1,310	40.3	1,319	40.7	803	41.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7,001.71	6,979.98
20年3月期第1四半期	6,394.63	6,345.22

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	12,161	—	10,446	85.9	—	—	83,245.67	—
20年3月期	14,049	—	10,770	76.7	—	—	85,819.65	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,446百万円 20年3月期 10,770百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5,000.00	—	9,500.00	14,500.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	7,500.00	—	7,500.00	15,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,490	—	3,090	—	3,100	—	1,890	—	15,035.79
通期	14,790	7.2	6,070	1.7	6,090	1.5	3,720	2.5	29,594.27

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	125,700株	20年3月期	125,700株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	204株	20年3月期	204株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期	125,700株	20年3月期第1四半期	126,700株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油・穀物等の原材料価格の高騰や米国経済の減速等を背景として国内景気の減速傾向が鮮明なものとなり、先行き不透明な状況下での推移となりました。

当社が属する電気機器業界におきましても、各種原材料価格の高騰を受けた物価指数の上昇をはじめとした経済動向に係る不安定要因を背景として設備投資の縮小傾向が強まっており、企業業績への影響が懸念されています。

一方、現在当社事業の中心的市場である遊技機器市場につきましては、過年度における遊技機器に係る規則改正による減速傾向の継続や環境サミット開催時における行政負担の軽減を目的とした新台入替に係る自主的規制等がありましたが、大型液晶表示装置を搭載した機器の製造販売が堅調に推移しており、概ね当初の想定に沿う推移となりました。

当第1四半期の業績を市場別及び製品別に分析いたしますと、遊技機器市場に向けたグラフィックスLSI製品に関しましては、前年同四半期における中核製品であった「AG-2」シリーズから高付加価値化を実現した「AG301」への移行が着実に進展しておりますが、前年同四半期に見られたパチスロ機器の大規模な入替需要が当第1四半期にはなかったこと等、前年同四半期比でグラフィックスLSI製品の販売数量が減少したことにより売上高も減少いたしました。

一方、同市場に向けたメモリモジュール製品の販売増を主たる要因としながら、サウンドLSI製品「AS201」やLEDドライブLSI製品「AL-1」シリーズも前年同四半期を上回る販売数量となり、同市場向け全体での売上高は増加いたしました。

更に、組み込み機器市場に向けたグラフィックスLSI製品「AG-9」シリーズも、前年同四半期を上回る販売数量となり、売上高は増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は3,307百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益は1,424百万円（前年同期比8.7%増）、経常利益は1,432百万円（前年同期比8.6%増）、当四半期純利益は878百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①当第1四半期末の資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は、前年同四半期末との比較で2,262百万円増加となる12,161百万円（前年同期比22.9%増）となりました。主な要因は、前年同四半期以降における事業活動の結果得られた現金及び預金の増加（1,647百万円）や高付加価値化製品への移行に伴う売掛金の増加（438百万円）等によるものであります。

当第1四半期末における負債合計は、前年同四半期末との比較で395百万円増加となる1,714百万円（前年同期比29.9%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（193百万円）及び支払配当額の増加に起因する未払配当金の増加（109百万円）及び預り金の増加（69百万円）等によるものであります。

当第1四半期末における純資産合計は、前年同四半期末との比較で1,866百万円増加となる10,446百万円（前年同期比21.8%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（1,346百万円）及び自己株式の処分による増加（594百万円）等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における営業活動により支出した資金は592百万円となりました。

これは主に、当第1四半期における税引前四半期純利益（1,432百万円）に対し、法人税等の支払（1,686百万円）やたな卸資産の増加（253百万円）及び仕入債務の減少（259百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動により支出した資金は39百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得（16百万円）及び無形固定資産の取得（22百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における財務活動により支出した資金は1,047百万円となりました。

これは主に、前事業年度の期末配当金の支払（1,047百万円）によるものであります。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて1,679百万円減少となる9,046百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当社第14期第1四半期を終了した現在までの遊技機器市場における当社LSI製品の採用動向は、ほぼ当社が期初において想定した推移となりました。

また、今後におきましても、現在までに当社が入手している当社LSI製品の採用動向等に鑑みて、ほぼ当初の計画に沿う推移となるものと分析しております。

従いまして、平成20年4月24日に公表いたしました業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

②たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,049	6,729
売掛金	1,870	2,314
有価証券	3,997	3,997
製品	408	154
その他	236	233
流動資産合計	11,561	13,429
固定資産		
有形固定資産	209	226
無形固定資産	146	137
投資その他の資産	244	257
固定資産合計	600	620
資産合計	12,161	14,049
負債の部		
流動負債		
買掛金	656	916
未払法人税等	562	1,709
その他	495	653
流動負債合計	1,714	3,279
負債合計	1,714	3,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	8,607	8,920
自己株式	△67	△67
株主資本合計	10,420	10,733
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26	36
評価・換算差額等合計	26	36
純資産合計	10,446	10,770
負債純資産合計	12,161	14,049

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,307
売上原価	1,391
売上総利益	1,915
販売費及び一般管理費	491
営業利益	1,424
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	1
雑収入	1
営業外収益合計	8
営業外費用	
株式交付費	0
為替差損	0
営業外費用合計	0
経常利益	1,432
税引前四半期純利益	1,432
法人税、住民税及び事業税	553
法人税等合計	553
四半期純利益	878

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,432
減価償却費	36
長期前払費用償却額	3
受取利息及び受取配当金	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	444
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△253
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△3
仕入債務の増減額 (△は減少)	△259
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△226
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△79
小計	1,086
利息及び配当金の受取額	6
法人税等の支払額	△1,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	△592
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△16
無形固定資産の取得による支出	△22
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△1,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,047
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,679
現金及び現金同等物の期首残高	10,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,046

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	2,706
II 売上原価	982
売上総利益	1,723
III 販売費及び一般管理費	412
営業利益	1,310
IV 営業外収益	10
V 営業外費用	2
経常利益	1,319
VI 特別損失	0
税引前四半期純利益	1,319
税金費用	515
四半期純利益	803

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,319
減価償却費	25
長期前払費用償却額	4
受取利息及び受取配当金	△4
売上債権の増減額(増加:△)	△136
たな卸資産の増減額(増加:△)	△209
その他流動資産の増減額(増加:△)	△3
仕入債務の増減額(減少:△)	229
その他流動負債の増減額(減少:△)	48
未払消費税等の増減額(減少:△)	20
その他	△4
小計	1,289
利息及び配当金の受取額	9
法人税等の支払額	△782
営業活動によるキャッシュ・フロー	516
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2
無形固定資産の取得による支出	△15
その他	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△662
配当金の支払額	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△641
V 現金及び現金同等物の期首残高	8,040
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末残高	7,398

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

製品区分	当第1四半期累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	
特定用途向LSI (ASSP) (百万円)	3,921	116.1	
顧客専用LSI (ASIC) (百万円)	—	—	
合計 (百万円)	3,921	116.0	

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ASSPとは、Application Specific Standard Productの略。特定の応用機器、使用目的のために設計、製造されるLSIで、複数の顧客に対して販売を行うものをいいます。また、ASICとは、Application Specific Integrated Circuitの略で、特定顧客の特定の応用機器、使用目的のために設計、製造されるLSIで、開発を依頼された特定の顧客に対してのみ販売を行うものをいいます。

(2) 受注状況

当第1四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

製品区分	当第1四半期累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕			
	受注高(百万円)	前年同期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同期比 (%)
特定用途向LSI (ASSP)	3,437	176.6	3,751	152.8
顧客専用LSI (ASIC)	—	—	—	—
合計	3,437	176.6	3,751	152.8

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

製品区分	当第1四半期累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	
特定用途向LSI (ASSP) (百万円)	3,307	122.4	
顧客専用LSI (ASIC) (百万円)	—	—	
合計 (百万円)	3,307	122.2	

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 〔自平成19年4月1日〕 〔至平成19年6月30日〕		当第1四半期累計期間 〔自平成20年4月1日〕 〔至平成20年6月30日〕	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	2,648	97.9	3,228	97.6

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. 最近における四半期毎の業績の推移

平成 21 年 3 月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第 1 四 半 期 20年 4 月～20 年 6 月	第 2 四 半 期 20年 7 月～20 年 9 月	第 3 四 半 期 20年 10 月～20 年 12 月	第 4 四 半 期 21 年 1 月～21 年 3 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	3,307	—	—	—
売 上 総 利 益	1,915	—	—	—
営 業 利 益	1,424	—	—	—
経 常 利 益	1,432	—	—	—
税 引 前 四 半 期 純 利 益	1,432	—	—	—
四 半 期 純 利 益	878	—	—	—
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	7,001 円 71 銭	—	—	—
	第 1 四 半 期 末	第 2 四 半 期 末	第 3 四 半 期 末	第 4 四 半 期 末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総 資 産	12,161	—	—	—
純 資 産	10,446	—	—	—
1 株 当 たり 純 資 産	83,245 円 67 銭	—	—	—

平成 20 年 3 月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第 1 四 半 期 19年 4 月～19 年 6 月	第 2 四 半 期 19年 7 月～19 年 9 月	第 3 四 半 期 19年 10 月～19 年 12 月	第 4 四 半 期 20年 1 月～20 年 3 月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	2,706	2,177	3,490	5,420
売 上 総 利 益	1,723	1,365	1,988	3,141
営 業 利 益	1,310	923	1,477	2,257
経 常 利 益	1,319	929	1,486	2,262
税 引 前 四 半 期 純 利 益	1,319	929	1,486	2,261
四 半 期 純 利 益	803	559	915	1,350
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	6,394 円 63 銭	4,483 円 64 銭	7,337 円 25 銭	10,775 円 23 銭
	第 1 四 半 期 末	第 2 四 半 期 末	第 3 四 半 期 末	第 4 四 半 期 末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総 資 産	9,899	10,372	11,156	14,049
純 資 産	8,580	9,107	9,405	10,770
1 株 当 たり 純 資 産	68,805 円 21 銭	72,968 円 22 銭	75,301 円 68 銭	85,819 円 65 銭